

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	1 年次 ・ 前期 ・ 選択	
	対象学科・専攻	土木工学専攻	
デザイン論 (Theory of Design)	担当教員	毛利 洋子 (Mouri, Yoko)	
	教員室	都市環境デザイン工学科棟 2 階 (TEL : 42-9121)	
	E-Mail	mouri@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / ——— / 2 単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100 分) + 自学自習 (200 分)] × 15 回		
[本科目の目標] 土木・建築の分野における構造物や建築物が生み出される際には、様々な考え方や試行錯誤の過程があることを知る。その考え方や思考の根底にある建築学や心理学的等の知識があることを学ぶ。また、様々な段階で考え方や形状を人に伝える為に、表現手法をより高度に活用することを学び、コミュニケーション力を高め、自らも発想する力を高める。			
[本科目の位置付け] 基本的な製図・模型での表現手法を習得した学生に対し、その術をどの様に生かせば良いのかを学ぶ段階と位置付ける。アイデアを創出し、表現し、伝え、説得する過程を知り、自ら発信できる技術者の育成を目指す課程である。			
[学習上の留意点] 本科目では、講義 (ゼミ形式) の形態を取り、下記の習得を目指す。 1. 土木構造物、建築物、ランドスケープ、ファニチャー等、様々な事例を知り、設計者・デザイナーの考え方を知る。 2. 過去の事例が生み出される迄の過程を知ることによって、自ら発信する際に必要な過程を知る。 3. 意匠設計の背後に意図や考え方があることを知り、実務上で様々な人と意思疎通する為に、表現手法を使えるようになる。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. ガイダンス・過去の授業との関連	2	<input type="checkbox"/> 過去の授業との関連、講義の位置付けを理解できる。	シラバスを把握しておく。
2. 土木構造物のデザイン事例	2	<input type="checkbox"/> 土木遺産の存在、近年のデザイン事例等を、知識として習得できる。	授業で提示された課題に対応する事例 (実物又は文献) を、自主的に選び、評価するレポートを作成する。さらに、次週、説明できるように準備する。
3. ランドスケープのデザイン事例	2	<input type="checkbox"/> ランドスケープの分野と事例を知り、実務での活躍の場を理解できる。	
4. 建築物のデザイン事例	2	<input type="checkbox"/> 公共施設等の建物と街との関係を理解できる。また、デザインの発想を知り、理解できる。	
5. ファニチャー等の デザイン事例	2	<input type="checkbox"/> 屋内外の事例を知り、ファニチャー等の存在による空間の質の変化を理解できる。	
6. ○○のデザイン：課題提示	2	<input type="checkbox"/> 最終課題として提案を行う為、課題を理解し、自分のアイデアを蓄積する意識を持つことができる。	
7. 考える手がかり：心理学編	2	<input type="checkbox"/> 考える手がかりとして心理学の基礎知識を知り、理解できる。	
8. 考える手がかり：建築学編	2	<input type="checkbox"/> 考える手がかりとして建築学の基礎知識を知り、理解できる。	
9. デザインのプロセス	2	<input type="checkbox"/> 考える手がかりと、試行錯誤のプロセス、表現手法との関係性等、デザインのプロセスを理解できる。	
10. まちづくりのプロセス	2	<input type="checkbox"/> まちづくりの活動や、建物や空間の影響、まちづくりのプロセスを理解できる。	
11. エスキス	2	<input type="checkbox"/> 得た知識を活かし、自分のアイデアを表現できる。	
12. 提案する形と表現方法の確定	2	<input type="checkbox"/> 周りの意見を聞き、自分のアイデアを向上できる。	
13. 発表会 1	2	<input type="checkbox"/> 自分の持つアイデアを伝える為に、どのような表現をすれば良いか、検討することができる。	
14. 発表会 2	2	<input type="checkbox"/> 自分の提案を説明することができる。	
15. 提出課題の返却と講評	2	<input type="checkbox"/> 自分の提案を説明することができる。	
[教科書] なし			
[参考書・補助教材] 事例と関連する文献・写真を抜粋し、プリント等で配布。			
[成績評価の基準] 課題・レポート提出(100%)—授業態度(上限 20%)			
[専攻科課程の学習・教育目標との関連] 3-3			
[教育プログラムの学習・教育目標との関連] 3-3			
[JABEE との関連] (d)(2)a			

Memo